

## 須賀連合町会総会案内

須賀連合町会の活動は7年を経過しました。この間、法人格の取得や地域活動を通じて、三町会の一体化を進めてまいりました。令和元年度の事業内容の報告、ならびに令和2年度の事業計画の説明のために、定期総会を下記の通り開催いたします。

日時：令和2年5月24日(日)午後2時～ 会場：須賀会館

※なお、出席できない方は、昨年と同様に事前に行う回覧用紙の委任状に記名捺印をお願いします。

### 令和元年度概要報告

令和元年度は、地域の一体事業としての盆踊り・秋祭りを盛況に実施でき、9月には、三町会合同の防災訓練を実施しました。地域情報誌「すが」を年2回発行いたしました。

主な事業

1. 防災訓練 9月8日(日)
2. 盆踊り 7月28日(日)
3. 秋祭り 10月12日(土)～13日(日)
4. 歳末警戒 12月26日(木)～30日(月)
5. 情報誌すが 4月・9月

### 令和2年度計画概要(案)

住みよい・安全・安心の町づくりのために、三町会の活動の連携を図り、「オール須賀」の一体化と魅力ある町づくりの活動を進めてまいります。

主な事業

1. 盆踊り 7月26日(日)
2. 防災訓練 9月に予定
3. 秋祭り 10月10日(土)～11日(日)
4. 歳末警戒 12月26日(土)～30日(水)
5. 情報誌すが 4月・9月

### 令和元年度会計報告

単位(円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	608,655	助成金・祝儀等	430,000
		盆踊り負担金	60,000
町会分担金合計	596,800	盆踊り近隣祝儀	30,000
須賀東町会	229,200	秋祭り負担金	150,000
須賀西町会	215,100	消防団助成金	130,000
須賀台町会	152,500	歳末特別警戒寸志	20,000
		出初め式祝儀	30,000
		神宮寺運営管理会費	10,000
		資産管理費	0
預金利息	5	備品・消耗品等	2,450
		設備、備品代	0
		文具事務用品代	965
		印刷費	1,485
		会議費等	7,365
		研修・会議費	7,365
		交通費	0
		情報誌・年2回	100,000
		租税公課	0
		その他 農空間づくり協議会 準備金・協賛	30,000
		(支出計)	569,815
(収入計)	596,805	次年度繰越金	635,645
合計	1,205,460	合計	1,205,460

### 令和2年度予算計画(案)

単位(円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	635,645	助成金・祝儀等	430,000
		盆踊り負担金	60,000
町会分担金合計	594,700	盆踊り近隣祝儀	30,000
須賀東町会	227,100	秋祭り負担金	150,000
須賀西町会	215,100	消防団助成金	130,000
須賀台町会	152,500	歳末特別警戒寸志	20,000
		出初め式祝儀	30,000
		神宮寺運営管理会費	10,000
		資産管理費	30,000
預金利息	5	備品・消耗品等	10,000
		設備、備品代	3,000
		文具事務用品代	2,000
		印刷費	5,000
		会議費等	15,000
		研修・会議費	10,000
		交通費	5,000
		情報誌・年2回	110,000
		租税公課	5,000
		その他・予備費	20,000
		(支出計)	620,000
(収入計)	596,805	次年度繰越金	610,350
合計	1,230,350	合計	1,230,350

## 令和2年度 須賀の主な行事

須賀地域の主な事業予告(都合により変更の場合もあります)

- 小学校の運動会(錦郡小学校・伏山台小学校)秋に延期予定
- 錦郡小学校 子ども商人は今年度都合により中止です。
- 町内溝掃除
  - 須賀東町会年末大掃除 12月6日(日)
  - 須賀東町会 5月24日(日)
  - 水利組合の水路清掃 8月2日(日)
  - 須賀西町会 5月24日(日)
  - 須賀台町会 7月19日(日)

- 盆踊り 7月26日(日)
- 秋祭り 10月10日(土)～11日(日)
- 地藏盆 須賀東・西町会 8月23日
- 雷地藏尊 7月20日
- 合同防災訓練 9月(日程未定)
- 金剛中校区すこネットフェスタ 11月7日(土)
- 二中校区(錦郡小校区)クリーン作戦 11月第三土曜日

## 情報誌



須賀

発行

令和2年4月20日  
須賀連合町会事務局  
編集責任者 井上利夫  
発行責任者 田中義記  
須賀2丁目10-30  
TEL: 28-1997

須賀町 住民数 2,698人  
3月現在 世帯数 1,270世帯

## 連合町会あいさつ

令和元年、地域的には台風等の影響で甚大な被害が発生しました。被害を受けられた方にお見舞いを申し上げます。

令和2年は、安寧な一年であることを願いましたが、今年に入り「新型コロナウイルス」の感染が拡大しています。手洗い・うがい・マスクの着用等防御に努められ、一刻も早い終息を願う所です。

情報誌もおかげさまで9号を迎えることができました。この間、発刊に携わってこられた方々に感謝申し上げるとともに、ご愛読いただいております皆様方に感謝申し上げます。

今年も年2回4月9月の発刊を予定しています。地域の情報共有の役割を果たしていけるよう皆様方のご協力をよろしくお願い致します。



## 富田林市市制70周年行事



昭和25年4月に大阪府内16番目の市としてスタートしてから70周年を迎えました。市制発足の昭和25年には人口3万人

でした。その後昭和40年代に金剛団地の造成があり、ピーク時126,000人まで増加しましたが、近年115,000人に減少してきています。

市制70周年を祝って令和2年度は、市をはじめ各種団体が、いろいろな記念行事を計画されています。

- ①4月5日(日)NHKのど自慢(すばるホール)【中止】
- ②5月10日(日)市内のだんじりが一堂に会してのパレード【延期の予定】
- ③郷土富田林市にゆかりのある浪花千恵子さんの偉業を記念する事業。浪花千恵子をモデルにしたNHK朝ドラ「おちよん」10月から放送。

## 須賀の課題や農空間づくりなどで吉村市長と懇談



昨年8月19日、市長就任後の忙しいなか時間をいただき、吉村新市長と須賀農空間協議会、連合町会メンバーが地域の課題やビジョンについて意見交換を行いました。

### 遊休農地は深刻な課題

須賀町から「須賀農空間づくり協議会」の趣旨や設立に至った経緯について報告し、今後の事業活動に対する支援をお願いしました。これに対し、市長から「遊休農地が増えていることは深刻な課題だ。農地・農業への施策としてできることを行いたい」「子供たちに食育としての農業の大切さを理解してもらいたいと考えている。子供たちの稲作づくりや学校給食での地元食材の利用を進めている」と述べられました。

### 地域情報誌は地域のつながりで有効

須賀連合町会では、地域情報誌「すが」を年2回発行しており、地域に密着した内容を掲載していることを紹介しました。市長は、「地域のつながりを持つために情報誌は有効だ。町会行事や小学生登下校の見守りなども同様だ。『特殊詐欺』の注意喚起、農業振興、防災、安全などの話題は情報誌が有効だと思う」と述べられました。また、誌面に掲載している地域文化財などの記事に触れ、「富田林の良き文化財を発信していくことが大事」との発言がありました。「すが」の発刊については初めて知ってもらったようでした。

### 須賀の課題や病院の建て替え

須賀町の今抱えている課題として、巡回バス運行などの交通機関や公共施設がないこと、高齢化に伴うインフラの乏しさなどについて要望しました。市長からは「市としては新たな施設は考えていないが、施設のアンバランスは是正したい。交通不便対策についてはボランティア活動を組み合わせたい医療・弱者支援を検討したい」と考え方を示されました。

富田林病院の建て替えについて、「市民の命と健康を守るために市と大阪府済生会と協力して進めている」と報告がありました。

今後も機会があれば、意見交換を続けようとのことで締めくくりました。



## 令和2年度 須賀三町会 関連団体の新体制

### 須賀農業実行組合長 谷口勝彦 (須賀東町会在住)

この4月より、須賀農業実行組合長させていただくことになりました谷口です。

須賀地域に限らず農業を取り巻く環境が厳しい状況にあります。特に近年激しさを増す異常気象による災害対応のため農地・水路の果たす多面的な機能とその保全・利活用に努める必要があると考えており、皆様の農業に対する理解を得ながら組合運営を行っていきたくと考えておりますのでご協力をお願いします。

### 須賀青年会 会長 西仲 柁 (須賀東町会在住)

幼い頃から須賀の太鼓の音に心躍らせていた私がついに会長をさせていただく事となりました。

私は、多くの方々が地車に触れる事で「須賀の魅力」が継承されると共に、次世代の後継者達が多く青年会に入会して頂けるよう努めてまいります。

関係各位の皆様のおかげで祭礼ができる事の大切さを再認識し、恩返しできるよう精進いたします。何卒、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 須賀水利組合長 中村宏純 (須賀東町会在住)

この度、水利組合長に就くことになりました。須賀町の緑豊かな自然を守っていきたくと考えております。まさに右も左もわからない若輩者ですので、皆様のお力添えを頂き職を全うする所存です。何卒ご指導ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

### 須賀子ども会 代表 宮本沙知 (須賀東町会在住)

伝統ある「須賀子ども会」の会長を仰せつかり、役員の皆様と力を合わせて子どもたちの健やかな成長の応援をしていきますので皆様方のご支援をよろしく申し上げます。子ども会の会員数も減少してきましたが、一人一人子どもたちは“地域の宝”と思っています。元気いっぱい走り回る子供たちから元気をもらい育成に力を注ぎますので皆様方も暖かく見守ってください。

### 須賀西子ども会 会長 横田亜紗子様 (須賀西町会在住)

“子どもは地域の宝” 須賀の町を好きになってもらえるように、楽しく、安全に活動に取り組みます。

## 須賀の農地に小麦の栽培が復活

昨年スタートした「須賀農空間づくり協議会」の活動として、「農地の貸し借り」を大阪府の外郭団体である「みどり公社」(大阪市本町)の仲介で進めた結果、120アール(契約農家10軒、主に新池北側)の農地と5年の貸付契約が締結されました。

借主は大阪市でドーナツチェーンを展開している(株)フロレスタです。この契約に伴い、水利実行組合の倉庫も賃貸されています。(株)フロレスタは先方が販売しているドーナツや菓子の材料を自社生産する計画を持っていて、無農薬無化学肥料で小麦・大豆・サツマイモ等を耕作されます。手始めにこの冬から当地で小麦の植え付けを一部で始められました。先方は耕作面積の拡大を考えておられ、須賀の農地にも多様な作物が耕作されることとなります。



◆株式会社フロレスタ

設立	平成23年11月	従業員数	91名
直営店	7店	FC店	27店
取扱商品	ドーナツ、焼き菓子、アイスクリーム他		

## ペットの「ふん」は放置しないで下さい

多くの犬の飼い主は散歩時に袋などを携帯し、「ふん」を回収されています。残念なことに、一部マナーの悪い飼い主による「ふん」の放置が、各地域で大きな問題となっています。

須賀町においても、小学校の通学路や田畑の近くなどで、「ふん」の放置が見受けら

れます。衛生上にも問題がありますし、特に環境美化意識が高まる中、「ふん」を放置する飼い主にマナーの向上を訴えるとともに、「ふん」を持ち帰るようお願いいたします。



## 秋祭り・でんでこ



令和初のだんじり宮入は、台風19号の接近の為に中止となりました。台風での中止は、10数年なかっただけに残念でした。幸い直接の被害はこの地区にはなく、当日夕刻から翌日には各地区とも町内を練り歩いていました。

須賀地区は、9年に一度回ってくる「でんでこ」の当番年度でしたが台風により神社の神幸祭は中止となりました。翌日13日好天のもと、13時から町内のお披露目曳行をしまし



た。今年のお稚児さんは、須賀西町会から中村修人君(6歳)と宗和鋼生君(6歳)でした。

以前は、早朝の曳行の為、見れなかった人も今回はお昼間であり、ご両家の近くには近所の方々がお祝いに駆けつけてくださり、記念写真を撮ったりと例年にない楽しみ方となりました。この伝統行事はだんじり祭りと共に大事に継承していきたくものです。

## コラム 須賀の歴史「願力石」

一般的に「力石」とは、村一番の力自慢を競い合い、踏ん張りの精神力や体力を養うため、提げたり担ぎに使われた特定の石と言われています。また、石を持ち上げたり、触れたりして豊年祈願など、諸願の成就を信仰する石を「願掛け御力石」や「願力石」などと呼ぶ地域(または神社)もあります。

「力石」の歴史は、江戸時代から昭和の初期に全国の集落で「力石」を使った力比べが行われていました。さらに、江戸時代の連歌には鎌倉時代から力石があった句が記載されているようです。時代を越えて長く親しまれてきた「力石」は、時が経つにつれ習俗が廃れ、神社や広場の片隅に放置されるようになってきました。

平成4年末、須賀・神宮寺の隣接地の畑に、須賀の先人から言い伝えられていた「力石らしきものがある」との訴えがあり、「こんな珍しいものがあるなら次代に残して祀ろう」と東町会の当時役員(谷口一・石橋馨太郎・奥井正澄)の3人が発起人になり、保存活動を始めました。当初は参考資料や詳しい知識もなく、手分けしながら関係資料の収集や神社、故事に詳しい方への聞き取り調査を行いました。

全国に約1万5千個の力石がありますが、富田林市内では嬉「腰神社」と中野町「長寿会館」に祀られていることが分かりました。そこで、当時、尼池の埋め立て地を管理していた水利組合の協力を得て、敷地の提供を受けられたので保存会を立ち上げました。「願力石」の祭祀場を設けるために寄付を

募ったところ、各種団体や町内の方々の賛同があり、113名の方から総額約600万円が集まり平成5年3月に今の祭祀場が完成しました。皆さまもご存じだとは思いますが、尼池公園の「憩いの家」と「だんじり小屋」の間に石柱に囲まれた中に大小の力石2個が祀られています。

保存会では長く餅をまき、正月には餅を飾ってお祀りをしてきました。

近年、関係者の減少や高齢化などで清掃も続けるのが難しくなっています。

※「大阪の力石」(高島慎助著)に須賀「願力石」の記載があります。



●絵：浦西 徹